



おぐら  
尾倉

<校訓>  
自主  
創造  
協力



令和4年7月15日(金)発行  
校長 栗原博巳  
北九州市八幡東区尾倉三丁目10番1号  
HP: www.kita9.ed.jp/ogura-j/

<学校教育目標>

豊かな心を持ち、健やかでたくましく行動する生徒の育成～みんなで考え、みんなで取り組み、みんなで作る尾倉中学校～

<目指す生徒像>

- ① 感性豊かで、意欲的、主体的に学習する生徒
  - ② 健康で明るく、思いやりのある生徒
  - ③ 礼儀正しく、奉仕の精神に満ちた生徒
- ◇ 元気のいい挨拶・礼儀・身なり・学習規律と集団生活における規律とマナー

## ひたむきに奪った“15”のアウト～甲子園予選から～

日本の夏の風物詩の一つに「高校野球」「甲子園」があります。「高校野球」は俳句の世界では「季語」になっているようです。

その高校野球の県予選が各地で開催されています。第104回全国高等学校野球選手権千葉大会1回戦が11日行われ、茂原市・長生の森野球場では、「わせがく」が昨年春の県大会優勝の千葉学芸高校に0-82の5回コールドで敗れました。

通信制で、心身の調子を崩したり、中学校で不登校になったりした生徒らも通う「わせがく」。「それでも野球がしたい」と入部し、野球が仲間をつくる舞台になってきました。

以前、ラグビーで同じような内容を通信に載せたことがあります。覚えていますか。今回のこの大会の様子は、多くのメディアや新聞で報道されています。ぜひ、みなさんに読んでほしい内容です。



毎年県予選の時期になると、各地で大差の試合があります。「試合を止めるべきだ」「最後までやらせて倒れたらどうするんだ」いろいろな考えがあると思います。この試合は、生徒の思い、医師の助言、監督の判断の下行われた試合です。「やることに意味があるのか」「やらないことに意味があるのか」皆さんはこれから先、このような状況に出会うかもしれません。そのような時、「自分ならどう考えるか」「本当に大切なことは何か」を考えて進んでください。「本当に大切なものは目に見えない」星の王子様作者サン＝テグジュペリの言葉です。

先生もこの時期になると、初めて出場した県大会で当時全国3位の岡垣中学校に第1ダブルス(15-0,15-0)、シングルス(11-0,11-0)、第2ダブルス(15-0,15-0)で敗れたことを思い出します…。当時の生徒にとっても、校長先生にとっても忘れることのできない宝物です。